

だいで栽培に、二つの見張り番 「ダイアジノン[®]粒剤」と「コダール[®]S水和剤」が貢献します!

殺虫剤

だいで栽培の初期から後期まで、
幅広い対象害虫を仕留めます。

ダイアジノン[®]粒剤5 粒剤10[※]

〈ダイアジノン粒剤5〉農林水産省登録 第10438号 〈ダイアジノン粒剤10〉農林水産省登録 第20304号

※ダイアジノン粒剤10は医薬用外劇物



見張り①

- だいで栽培の幅広い土壌害虫に効果があります。
- だいで栽培の子実害虫の同時防除が可能です。

土壌害虫



カブラヤガ成虫

ネキリムシ類

ネキリムシ類の主なものでは、カブラヤガとタマナヤガがあげられます。いずれの幼虫も作物の苗を株元から切断したり、生長点を食害して生育不良や欠株を生じさせます。



タネバエ

幼虫は種子を食害して発芽を阻止したり、また発芽後の幼芽も加害し、枯死させます。

子実害虫



マメシクイガ

シロイチモジマダラメイガと同様に、幼虫はだいで栽培のサヤの内部を食害します。だいで栽培の種子が肥大する時期と成虫の発生時期が重なる場合に被害が大きくなります。関東、中部以北の寒冷地に多い害虫です。



フタスジヒメハムシ

ほぼ全国に分布し、越冬成虫の産卵後8月から9月にかけて2〜3回発生します。成虫はだいで栽培、あずき、いんげんの葉やサヤを食害し、幼虫は根粒内部を食害します。サヤ表面が食害されると黒斑粒や腐敗粒の原因となります。

除草剤

畑地一年生雑草・帰化アサガオ類に
効果のある土壌処理剤です。

コダール[®]S水和剤

農林水産省登録 第23414号



見張り②

- イネ科、カヤツリグサ科、広葉の一年生雑草に効果があります。
- マルバルコウ、アメリカアサガオ、マメアサガオの発芽抑制・生育抑制効果があります(体系防除が効果的)。

※**水稻薬害注意!** 水稻に薬害を生じるおそれがありますので、当年または翌年に水稻栽培を予定されている圃場では使用を避けてください。

殺草スペクトラム

	雑草名	10a当りの薬量投下量		試験例数
		225g	300g	
イネ科	スズメノカタビラ	●	●	2
	オヒシバ	●	●	1
	イヌビエ	○	○	9
	メヒシバ	○	●	6
広葉雑草	ハコベ	○	○	2
	ホンアオゲイトウ	●t	●t	2
	スベリヒユ	○	○	4
	イヌタデ	□	○	4
	シロザ	○	○	9
	タカサブロウ	○	□	2
	エノキグサ	△	□	3
	アメリカセンダングサ	×	×	1
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	●	●t	3

評価記号 ●:0%(残草率) ●t:0~1% ○:1~10% ○:11~20% □:21~40% △:41~60% ×:60%以上

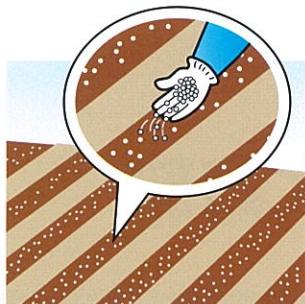
殺虫剤

ダイアジノン[®] 粒剤5 粒剤10

上手な使い方

タネバエ

- 出芽までに幼虫の被害を受けやすいため、薬剤が種の周辺に集中するよう、は種時に作条土壌混和します。
- 土壌混和は浅めが効果的です。



ネキリムシ類

- 幼虫に薬剤をより接触させるよう、土壌表面散布します。



マメシクイガ フタスジヒメハムシ

- 8月中旬～9月中旬に害虫の発生に合わせて1週間～10日間隔で2～3回処理します。
- 畑全面に散布して下さい。
- フタスジヒメハムシ幼虫による根粒の食害も防止します。



適用範囲および使用方法

■ダイアジノン粒剤5

作物名	適用害虫名	10a当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む 農薬の総使用回数
だいず	マメシクイガ カメムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ フタスジヒメハムシ	4～6kg	収穫30日前 まで	4回以内	散布	6回以内 (種子粉衣は1回以内、 粒剤は5回以内(生育 期の処理は4回以内))
	ネキリムシ類	6kg			土壌表面散布	
	コガネムシ類幼虫 タネバエ	4～6kg		5回以内	作付前: 全面土壌混和 又は作条土壌混和 作物生育中: 作条処理 して軽く覆土	

■ダイアジノン粒剤10

作物名	適用害虫名	10a当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む 農薬の総使用回数
だいず	タネバエ	3kg	は種時	1回	作条土壌混和	6回以内 (種子粉衣は1回以内、 粒剤は5回以内(生育 期の処理は4回以内))
	フタスジヒメハムシ				無人ヘリコプター による散布	
	マメシクイガ	1.5～3kg	収穫30日前 まで	4回以内	散布	
	ネキリムシ類	3kg		5回以内	土壌表面散布	

除草剤

コダールS水和剤

上手な使い方

3つの ポイント

1 雑草発生 前に散布

2 碎土・整地は ていねいに

3 使用量を 守る



帰化アサガオ類への対応

- 難防除雑草の帰化アサガオ類の防除には、体系防除が有効です。
- マルバルコウ、アメリカアサガオ、マメアサガオに発芽、生育抑制効果があります。
- ホシアサガオ、マルバアメリカアサガオには効果が期待できません。



マルバルコウ



アメリカアサガオ



マメアサガオ

適用範囲および使用方法

■コダールS水和剤

作物名	適用 雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		使用 回数	本剤の 使用 方法	適用 地帯	プロメトリン を含む 農薬の 総使用回数	メトラクロール及び S-メトラクロール を含む農薬の 総使用回数
				薬量	希釈 水量					
だいず	一年生 雑草	は種後 出芽前 (雑草発生前)	全土壌 (砂土を除く)	225～ 300g /10a	70～ 100ℓ /10a	1回	全面 土壌 散布	全域	1回	1回

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所に置かないでください。 ●空袋は園場等に放置せず適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

この印刷物は平成27年4月時点での登録内容に準拠して作成しました。

日本化薬株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目1番1号(明治安田生命ビル)
TEL.03-6731-5321 FAX.050-3730-7867